



同窓会だより

校訓
けい しん あい ち
敬心愛知
けん し りょ っ こう
堅志力行

編集・発行：広島県立三原高等学校同窓会 〒723-0016 広島県三原市宮沖4-11-1 TEL 0848-62-2151



校訓碑と300号館を望む



初代体育館が建て替えられ、格技場が完成しました。

三原高校は、2020年に100周年を迎えます。

会報発刊を記念して

会長 平田 修己 (9回生)



まずは冒頭、今年7月に発生した西日本豪雨災害でお亡くなりになられた方々、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

さて、同窓生の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は、母校並びに同窓会発展のために物心両面にわたりご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

現在、三原高校同窓会では、平成32(2020)年11月に開催予定の母校創立100周年記念事業に向けて実行委員会を組織し、準備を進めている段階です。この度、新しく会員名簿も完成し、会員の皆様にお届けすることができました。さらに今後は、母校のこれまでの歴史や同窓生の活躍を振り返るパネル展などを実施し、2年後に迫った創立100周年記念事業に向けて周知を図りながら盛り上がりを図っていきたく考えています。

それらの取組みの1つとして、この度、同窓会会報を発行しました。これまでの同窓会活動は、母校に対する支援と8月の総会・懇親会が主な内容でありました。しかし、その様子や母校の現在の様子を会員の皆様にお知らせするような活動は、正直なところ十分行えていませんでした。そこで、母校100

周年を機に、毎年1回は皆様に会報をお届けし、母校の様子をお知らせするとともに同窓会活動にご理解とご協力をお願いしたいと考えました。ただ、そのためには資金が必要であり、今年度4月の常任理事会で、8月の懇親会費を3000円から5000円に増額していただき、増額分を同窓会活動資金とすることに決定していただきました。会員の皆様にはご負担をおかけしますが、今後も趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

また、8月13日の懇親会の中では、西日本豪雨被害に対する義援金の募金を行いました。懇親会は1時間半ほどの間でしたが、16万円もの義援金が集まりました。同窓会会計からの10万円を加えて26万円を、中国新聞を通じて支援させていただきました。少しでも災害の支援になればと思います。ご協力いただいた方々に感謝申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

母校が創立100周年を迎え、さらに次の100年に向けての活動の中心となるように、この会報を位置づけたいと考えております。会報の内容充実のためにも、会員の皆様からたくさんの情報をお寄せいただきたいと思います。そして、それを発信していくことで同窓会活動を活性化させていきたいと考えています。

終わりに、この同窓会会報の作成に当たりご尽力いただいた母校事務局の先生方、同窓会役員の皆様、資料提供に協力いただいた方々に感謝申し上げます。

これからの教育の 創造にむけて



校長 三次 至和 (28回生)

同窓生の皆様には、平素から本校発展のために多くのご支援・ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。現在は、2年後に迫った三原高校創立100周年記念事業に向けて、同窓会の皆様と力を合わせ、準備を進めているところでございます。

さて、三原高校の生徒たちは、校訓「敬心愛知 堅志力行」のもと高い志を持って文武両道に励んでおります。何事にも真面目に一生懸命、そして最後まであきらめない態度で取り組んでおり、これは先輩方から脈々と続く三原高校生の気質であると考えます。この伝統の上に立ち頑張っている成果が、野球部の夏の甲子園予選ベスト16をはじめとする部活動の結果に表れています。浮城祭（文化祭）や体育祭は生徒たちが主体的に運営しており、これからの社会で必要とされる生きる力の育成につながっています。また、国公立大学に毎年60～80名が合格しており、このような様々な成果によって地域から厚い信頼を得ていると思っています。

広島県では、これからのグローバル社会を生き抜く力を育成するために「学びの変革アクションプラン」を展開しています。過去3年間の試行期間を経て今年度から全県で展開しているところです。これからの世界は、グローバル化の進展により、あらゆる資源が国境を越えて行き交い、社会全体から一人一人の日常生活に至るまで広範な分野に影響が及びます。一方、少子化の影響により、地域社会を支える人材が減少していく中で、この状況を打開していくためには、「地域を支える人

材」から「世界で活躍する人材」まで、厚みのある人材育成が不可欠になってきます。そのために、学校では「課題発見解決型学習」に取り組み、生徒の主体的・対話的で深い学びを創造しています。

本校でも、授業ではICT機器の活用やグループ活動などを通じて深い学びの創造に勤めています。また、総合的な学習の時間では、生徒の主体的な研究を実現していくためのプログラム作りを進めています。

今の生徒たちは21世紀中盤を支えてくれる人材です。そして、彼らの次の世代は22世紀を生きていく人たちです。ですから、今の生徒たちには22世紀を生きる人たちを作る人たちであると考えます。これからは、少子化が進むとともにAIの進化による社会構造の変革が求められる時代です。私たちは、今、22世紀を想像しながら生徒の育成に当たっていかなくてはなりません。

創立100周年は、一つの区切りであり、次の100年に向けての新たなスタートであると考えます。これまで先輩方が築いてこられた素晴らしい歴史と伝統を踏まえながら、新たな三原高校として発展し続けて行かなくてはなりません。そのために、同窓生の皆様と力を合わせ、地域社会で信頼される学校づくりを進めてまいります。ご意見等がありましたら遠慮なくお寄せください。学校改革に生かしてまいりたいと思います。今後も、三原高校に対するご支援をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

広島県立三原高等学校創立100周年記念事業

「なつかしの三原高校」写真展

今回は、主に昔の校舎や生徒の様子、野球部の甲子園出場、体操部、卓球部、バレーボール部の活躍などを中心に写真を展示します。

2020年11月開催の創立100周年記念式典までに3回の開催を予定しております。

入場無料

日時：平成30年12月19日(水)～25日(火)
10:00～16:00

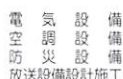
場所：三原市民ギャラリー ギャラリー2
三原市城町1丁目2-1
(ペアシティ三原西館2階)

マルサン酢・テングソース醸造元
(マルキン・キッコーマン・ヒガシマル・マルヤス・カオリ)醤油
各種調味料 **中間醸造株式会社**
三原市西町1-2-10 TEL **64-4555**(代) FAX **64-4556**



クスリ・処方せん・介護用品
福祉用具レンタル・販売
(有)ときわ薬局

本店 三原市港町 JR三原駅前 TEL 0848-62-2953



電気設備
空調設備
防災設備
放送設備設計施工

明るい暮らしとやすらぎをプロデュースする

株式会社 鶴田電設コンサルタント

本社 / 〒723-0051 三原市宮浦6丁目3-23
TEL 0848-63-0383(代) FAX 0848-63-0354
E-mail: y.tsuruta@tsuruta-dc.co.jp
東広島営業所 / 〒739-0016 東広島市西条岡町10-24
TEL 082-422-0383

TSURUTA

SINCE 1881

吉原写場

〒723-0013 三原市古浜1丁目9-12 TEL 0848-62-2238

平成30年度広島県立三原高等学校同窓会総会・懇親会開催

平成30年8月13日(月) 三原国際ホテル 於

今年も同窓会総会・懇親会が、8月13日(月)三原国際ホテルで開催しました。総会では、開会に先立ち西日本豪雨災害で亡くなられた方々、被災された方々へのお悔やみ・お見舞いの言葉があり、続いて平田会長の開会の言葉で始まりました。総会終了後、懇親会を開催しました。今年の当番幹事は、17・27・37・47・57回生でした。



同窓会総会議事報告

議事 (議長：平田会長)

第1号議案「平成29年度会務報告の承認について」

第2号議案「平成29年度一般会計並びに総会収支決算報告の承認について」

第3号議案「平成30年度会務計画(案)の承認について」

第4号議案「平成30年度一般会計予算(案)の承認について」

以上、事務局、理事会計の説明の後、満場一致で承認されました。

第5号議案「同窓会会則改正の承認について」

同窓会運営にあたっては同窓会が主体となって企画、運営を行うことで同窓会の活性化を図るべきとの趣旨から、同窓会の中から事務局長、事務局次長を選任して運営することにしました。企画、運営の具体的施策の検討機関を明確にして検討内容の充実を図るため、執行部会を設けることにしました。

説明の後、本議案は原案どおり満場一致拍手をもって承認されました。

第6号議案「平成30～31年度役員改選の承認について」

会長の任期は3期6カ年が限度となっている。平田会長は、平成24年度に就任し平成29年度で3期6カ年になった。平田会長は100周年記念事業の実行委員長も兼務していることから、平成30年度から100周年記念事業が終わるまで務めていただきたいので、再任について総会に提案して承認を求めました。

本議案は原案どおり満場一致拍手をもって承認されました。

第7号議案「その他」については、「総会、懇親会の会費の増額」

平成30年度の総会・懇親会より会費を3,000円から5,000円に増額。会費増額については、100周年を迎えるに当たり、今後一層同窓会の活性化を図り、同窓生の母校愛を醸成するための活動にあてていくこととします。

説明の後、本議案は原案どおり満場一致拍手をもって承認されました。

平成30年7月西日本豪雨災害 同窓会懇親会会場にて義援金を募りました

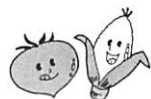
7月の西日本豪雨災害は各県に甚大な被害をもたらしました。市内を流れる沼田川は7月6日からの大雨で氾濫、最も被害が大きかった本郷地区では約80戸が床上浸水、9戸が損壊しました。三原市では8名が亡くなられ、多くの方々が被災されました。謹んでお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

この影響で三原市内のほぼ全域が断水、一部地域では停電となり、三原高校をはじめ市内の小中高等学校は1週間程度の休校となりました。復旧作業では、ボランティアの方々のご協力をいただいておりますが不十分な状態が続きました。

また、JR山陽本線、呉線が当分の間運休となり、代行バス等で不自由しながら登校した生徒たちも

たくさんいます。ようやく通常どおりに回復しました。この間、多くの皆様から給水活動や物資等のご支援をいただくとともに、復旧活動に御協力いただいた方々には心から感謝申し上げます。

8月13日の懇親会では、出席者の皆様に義援金を募らせていただきました。突然のこととはいえ、16万271円が集まりました。同窓会会計からの10万円と合わせて26万271円を、中国新聞を通じて寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。



タネ・苗 タキイ 特約店
サカタ

(株) タネヨシ

三原市宮沖3-10-7

TEL (0848) 62-3015 (代) FAX (0848) 62-3029

スポーツ用品のことならHEDにおまかせ!

H・E・D (有) 豊栄堂運動具店

ALL SPORTING GOODS

三原・尾道 TEL 0848-62-3642

三原市で昭和天皇の撮影を許された
創業昭和5年 有限会社

富士写真館

三原市本町1-7-34 TEL 0120-307-753

スクールカマモト
スクール山本株式会社
〒723-0014 広島県三原市城町1-22-13 Yビル1F

TEL : (0848) 64-4114 FAX : (0848) 64-4113

三原高校野球部監督 高杢 靖



今年の全国高校野球選手権広島大会は、第100回の記念大会になった。三原高校は、昭和29年に甲子園に出場、その後も勝利を重ね広島大会通算勝利数を100勝(県内11位)とするなど、活躍の歴史を刻んできた。しかしここ3年間は初戦敗退が続き、生徒、卒業生など多くの人達が勝利を待ち望んでいたことと思う。

今年のチームは秋の尾三地区大会で敗退し、多くの課題を持ってのスタートだった。秋の県大会に出場できなかった悔しさを忘れず、春までの半年間、試合に勝つための心技体の強化と基本練習を繰り返す日々を続けた。「春の県大会出場と夏の大会1勝」を目標に頑張った。11月末には練習試合の勝ち数が負け数を上回り練習の成果が表れ始めた。チームは確実に成長し、翌春は県大会に出場し1回戦に勝利した。部員たちは力の向上を実感し、日々白球を追い夏大会に照準を合わせた。

7月7日開会式当日、西日本豪雨が各地を襲い三原も甚大な被害を受けた。床上浸水した部員、復旧ボランティア参加、長い断水、休校など野球ができる状況ではなかった。開会式は中止、大会は17日開始となった。可能な部員だけで練習を再開、体力を落とさずボール感覚を保つ程度の練習を続け、18日の1回戦に臨んだ。



1回戦は戸手高校。3年エース榎は制球力が課題であったが、地道な走り込みと筋トレでフォームを固め、大会前に安定感ができた。初回をなんとか無失点でしのぎ、その後は無四球単発被安打、守備も無失策で1点に抑えた。打線も前半は1点のみで苦しい展開だったが、

7回と9回到四球と連打で加点し7対1で勝利となった。

2回戦は安芸南校。西日本豪雨の被害が大きかった坂地区の高校で、災害後は満足な練習ができない状態であった。試合は三原が2点を先取したが相手チームの勝利に対する思いは強く、その中心である主将でエース4番に本塁打されるなど、6回で同点となる苦しい展開となった。7回到四球から三連打等で6点、8回にも3点を追加し11対5で勝利、4年ぶりの3回戦進出となった。



3回戦は秋春県大会ベスト16の庄原実業高校。打たれても点を取られるまでに3つのアウトを取る、外野手は広く守る作戦で臨んだ。4回到先制されたが5回到に連打と敵失などで5点を取った。その後も粘り強く戦い5対2で勝利した。安打数は庄原実11本、三原5本であったが無失策の守備力が光り、15年ぶりの4回戦(ベスト16)進出となった。

4回戦は、広陵高校。今年も優勝候補筆頭である。何とか食らいつきベスト8進出を目指したが広陵の壁は厚く、10対0の5回コールド負けに終わった。

強豪校に比べ練習環境などで不利な面はあるが、三原高校野球部は夏の大会で好成績を残している。その原動力は、練習に真面目に取り組む姿勢と個々の意識の高さ、自主性、仲間を大切にすることを大切にしている。これこそ三原高校野球部のすばらしき伝統である。100回大会は3勝、4回戦進出、通算103勝とした。また再び三原旋風を巻き起こし、甲子園で三原高球児が躍動する姿を期待する。

大会結果

- 1回戦 三原7-1戸手
- 2回戦 三原11-5安芸南
- 3回戦 三原5-3庄原実
- 4回戦 三原0-10広陵 (5回コールド)



「夏の思い出」

主将 恵谷 壮平



夏の大会直前、豪雨が広島を襲い、満足のいく練習があまりできないまま臨んだ初戦。101勝という重圧と調整しきれない不安が相まって、とても緊張しました。しかし、エースの力投もあって何とか初戦を突破、そして101勝目を達成できました。高校野球を始めて、夏大会の勝利を味わったことがなかった僕たちにとって、球場で歌った校歌は特別なものとなりました。2回戦、3回戦も多くの支えと応援のおかげでなんとか勝ち進み、目標の1つとしていた4回戦に進出できました。ベスト8を目指した広陵高校との試合は、結果は完敗でしたが、最後まで笑顔で仲間と野球ができてとても幸せでした。バッテリーボックス、グラウンドから見た景色、聞いた三原高の応援は一生忘れません。この大会で僕は改めて、多くの人に支えられて野球ができてきたことを実感することができました。4回戦まで行った100回目という記念大会、そして三原高校野球で過ごした日々には、様々なことがありました。僕たち3年生にとって間違いなく最高の夏になったと思います。

広島県石材工業協同組合加盟店

有限会社本郷石材

〒729-0411 三原市本郷町船木5394-1
TEL 0848-86-2740 FAX 0848-86-2077



廣文館みどり書店

広島県三原市宮浦6丁目7-22
TEL (0848) 60-0410 FAX (0848) 60-0411



訪問介護・福祉タクシー

アップル介護サービス

〒723-0062 三原市本町1丁目7番32号
TEL : 0848-36-5544 FAX : 0848-36-5566

※お気軽にお問い合わせください。



有限会社 上田製版印刷所

〒723-0062 広島県三原市本町1丁目8-5 TEL (0848) 62-2535 FAX (0848) 62-2516

info@uedain.com